

2023年5月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済については、個人消費が緩やかに持ち直しているが
企業活動の一部にやや弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2023年5月25日公表）において、「景気は緩やかに回復している」との判断に引き上げられた。「回復」と表現されるのは、2020年2月以来、3年3か月ぶり。個別項目についても、「個人消費」、「輸出」、「生産」、「世界経済」について判断が引き上げられている。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に4月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

① 需要動向に関して、「住宅建設」、「設備投資」、「公共投資」の判断が維持されたが、「個人消費」は、経済活動の正常化がすすみ、「持ち直している」との判断に引き上げられた。また、「輸出」については、半導体の供給制約が緩和され、自動車を中心に輸出が増加し、訪日外国人客による消費活動も活発化していることから、「底堅い動きとなっている」との判断に引き上げられた。

② 企業活動に関しては、「企業収益」、「業況判断」、「倒産件数」の判断は前月から維持された。自動車工業を中心に「生産」は「持ち直しの兆しが見られる」との判断に引き上げられた。

③ 雇用情勢に関しては、「持ち直している」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「消費者物価」が「上昇している」、「国内企業物価」は「このところ横ばいとなっている」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断に引き上げられた（上方修正は1年3か月ぶり）。個人消費、財輸出が緩やかに増加する米国、1～3月期のGDP成長率が改善した韓国などで景気の判断が引き上げられた。その一方で、台湾については、鉱工業生産指数の下降幅が拡大したこともあり、「景気は減速している」との判断に引き下げられた。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（全店、4月）は、前年比2.2%増となり、7か月連続で前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（4月）も前年比3.4%増となっている。このように販売額には持ち直しの動きが見られるものの、和歌山市内の食品価格（生鮮食品除く）は前年比7.2%上昇しており、家計への影響が懸念される。このような状況の中で、他業態との競争も激化している。県内のコンビニ販売額は前年比6.2%増、ドラッグストア販売額は同11.0%増となっている。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、4月）は、前年比25.2%増となった（増加は8か月連続）。半導体不足の緩和によりメーカーの新車供給量が持ち直しに向かっている。ただし、コロナ禍前（2019年4月）の販売台数との比較では9.1%減となっており、依然としてコロナ禍前の水準は回復できていない。

新設住宅着工戸数（4月）は、前年比19.8%減となり、7か月連続で前年を下回った。「分譲住宅」が3か月連続で大幅減となっており、「持家住宅」についても2か月連続で前年を下回った。資材価格の高騰や物価高の影響で、住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

② 企業活動面では、鉱工業生産指数（3月）は、3か月連続で下降（3か月間で約11ポ

イント下降)。その水準は約1年ぶりの低水準となっている。下降要因については、生産用機械工業、鉄鋼業、石油・石炭製品工業における生産活動の低下。

国内全体では、半導体等の供給制約の緩和もあり、自動車工業を中心に生産指数は持ち直し傾向にある。外需の下振れ懸念はあるものの、供給制約緩和に伴う挽回生産もあり、緩やかな持ち直しの動きが続くものと考えられる。

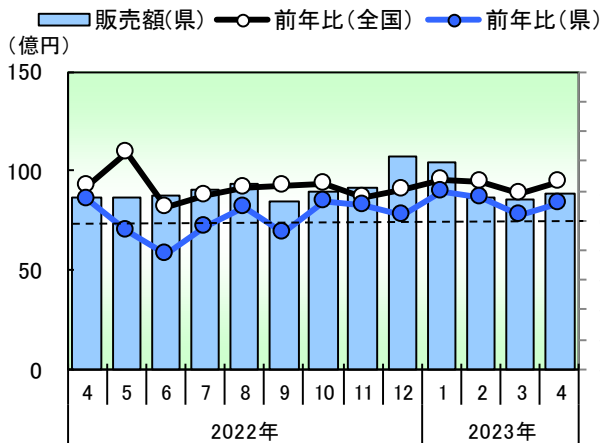
公共工事請負金額（4月）は、前年比8.7%増となり、2か月連続で前年を上回った。すさみ串本道路関連の大型工事が多数発注されており、県道（海南金屋線）改良工事、御坊市新庁舎建設工事、田辺市新庁舎電設工事などの大型工事の発注も見られた。

帝国データバンクが発表している県内TDB景気DI（4月）は、4月の景気DIは前月から0.2ポイント上昇した。上昇は2か月ぶり。製造業が3.7ポイント上昇する一方で、卸売業で2.2ポイントの下降となった。帝国データバンクは「海外経済の下振れリスクや物価上昇、供給面での制約など厳しい意見が大勢を占め、県内景況は当面のところ低位での一進一退の状況が続く見込み」としている。

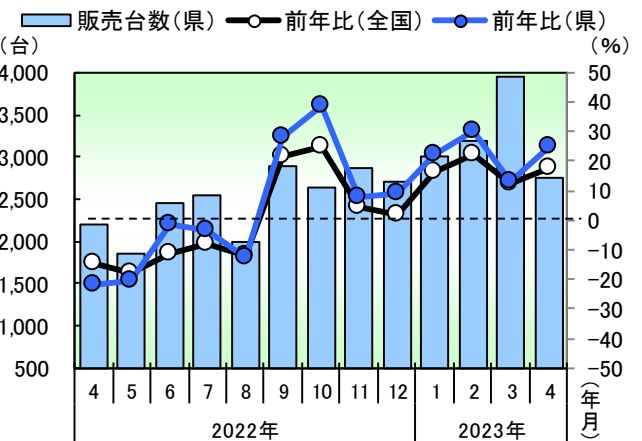
③雇用面については、有効求人倍率（4月）は、前月から0.02ポイント下降し1.17倍となった（下降は2か月連続）。有効求人数がほぼ横ばいで推移する中、有効求職者数が2か月連続で増加した。5月の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の「5類」移行を控える中、有効求人数は前年を下回る水準にある。

全国の雇用情勢について、ニッセイ基礎研究所は新規求人倍率が3か月連続で低下するなど、持ち直しの動きにやや陰りがあると指摘している。

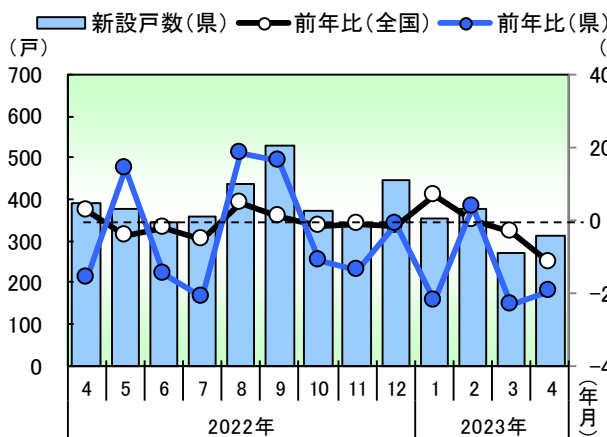
百貨店・スーパー販売額



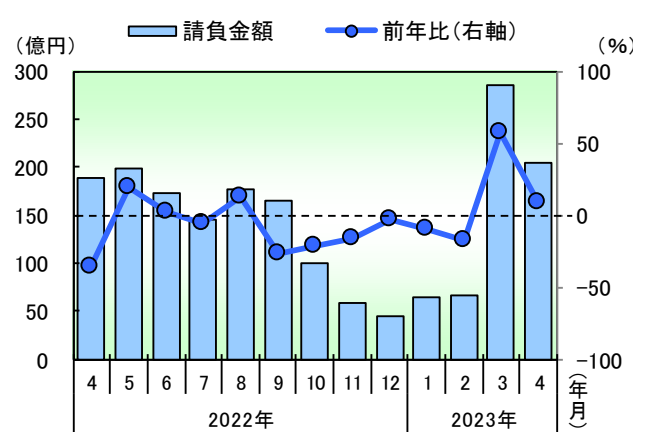
新車(登録車+軽自動車)販売台数



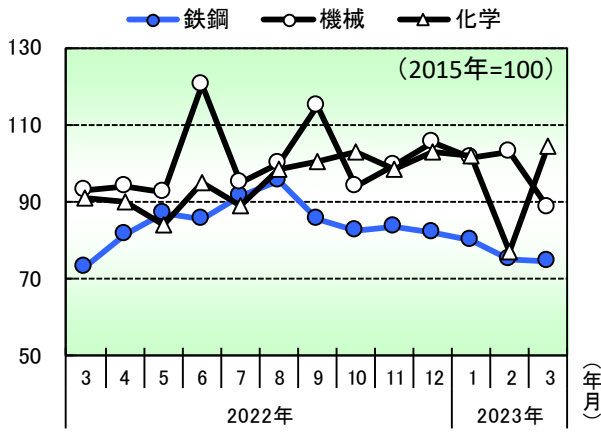
新設住宅着工戸数



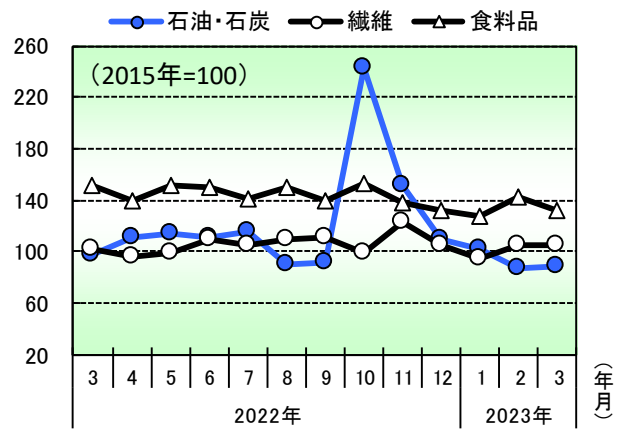
公共工事請負金額(和歌山県)



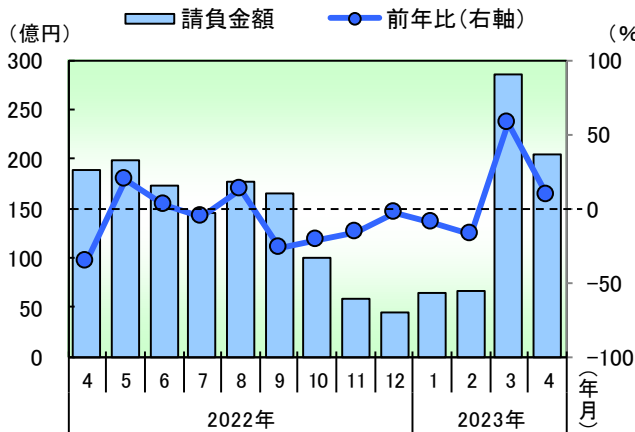
鉱工業生産指数(和歌山県)



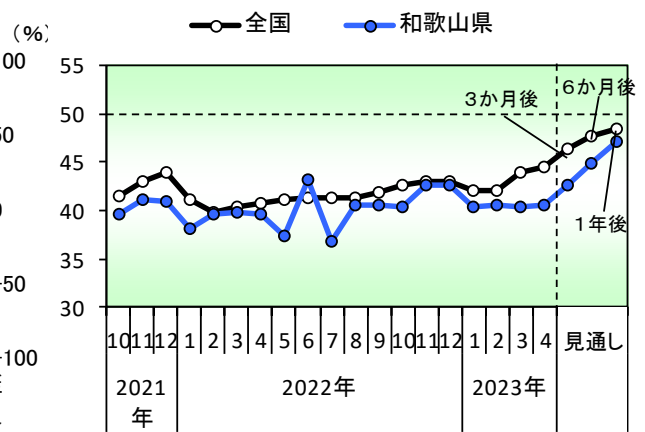
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

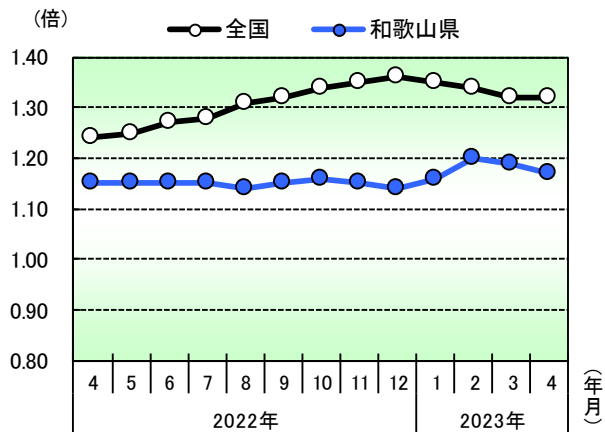


TDB景気DI(判断の分れ目は50)



(資料)株式会社データバンク

有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2017年	1,237	0.0	-1.3	38,692	5.3	4.7	4,539	-0.3	-5.6
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年3月	85.2	2.1	-0.2	3,483	-17.0	-18.0	353	6.0	50.9
4月	86.5	4.6	2.9	2,200	-14.7	-21.7	389	2.4	-16.0
5月	86.8	9.1	-1.3	1,847	-18.2	-20.6	375	-4.3	14.3
6月	87.6	1.9	-4.5	2,461	-11.2	-1.6	344	-2.2	-15.1
7月	91.0	3.3	-0.8	2,543	-8.2	-3.1	358	-5.4	-21.3
8月	93.6	4.3	1.7	2,001	-12.1	-12.7	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	2,899	21.4	27.9	531	1.0	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	2,648	25.1	38.6	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8

(2023年6月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2017年	103.1	109.2	107.1	120.1	102.8	100.7	105.7	117.1	1,292.6	-9.5	
2018年	104.2	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	101.2	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	90.9	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	95.7	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年3月	96.5	90.1	73.0	92.7	90.8	97.7	101.4	150.7	181.7	-9.3	39.8
4月	95.1	92.7	81.4	93.9	89.7	110.3	95.3	139.2	189.2	-35.5	39.6
5月	88.0	93.6	87.0	92.2	83.7	113.2	99.2	151.4	198.0	19.0	37.4
6月	96.1	101.8	85.4	120.4	94.9	110.6	109.7	150.5	172.7	2.7	43.2
7月	96.9	95.7	91.3	94.7	89.0	115.6	105.3	141.5	145.3	-5.5	36.9
8月	100.2	101.2	95.1	99.6	98.1	89.8	109.4	149.1	176.8	12.5	40.6
9月	98.5	101.9	85.3	115.0	100.4	91.4	110.1	139.8	166.1	-26.9	40.6
10月	95.3	100.0	82.1	94.0	102.7	243.3	98.3	152.4	100.6	-21.2	40.3
11月	95.5	100.4	83.2	99.1	98.1	151.3	122.2	137.2	58.5	-16.1	42.7
12月	95.8	101.2	81.7	105.5	102.6	109.4	104.4	131.4	44.3	-2.3	42.6
2023年1月	90.7	96.3	79.6	101.3	102.0	101.7	93.8	127.9	65.1	-9.6	40.4
2月	94.9	90.2	74.7	102.7	76.8	87.0	104.6	142.4	65.8	-16.8	40.5
3月	95.9	90.1	74.2	88.5	104.1	87.9	105.5	131.4	285.3	57.1	40.3
4月	95.5								205.7	8.7	40.5

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年6月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2017年	1.50	1.27	17,110	13,518	22.2	19.3
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年3月	1.23	1.15	16,943	14,742	18.7	21.9
4月	1.24	1.15	17,143	14,913	14.4	18.2
5月	1.25	1.15	17,305	15,110	17.0	19.7
6月	1.27	1.15	17,317	15,055	17.6	18.5
7月	1.28	1.15	17,247	14,977	13.4	16.4
8月	1.31	1.14	16,930	14,898	15.1	16.8
9月	1.32	1.15	16,836	14,664	14.2	15.4
10月	1.34	1.16	16,752	14,486	12.7	15.1
11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8
3月	1.32	1.19	16,870	14,216	18.5	21.5
4月	1.32	1.17	16,849	14,373	15.4	21.0

(2023年6月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。